導入事例

最高水準のセキュリティと業務効率化を両立

沖電気株式会社と株式会社ヴィセントの協業により、厳格な独自ネットワーク環境下で動作するセキュアな情報共有基盤として「Mattermost」を採用

高度な機密情報を取り扱い、社会的に極めて影響力の大きい大規模組織において、業務の迅速化と強固な情報ガバナンスの両立が課題となっていました。
同組織は、大規模システムインテグレーションにおいて豊富な実績を持つ「沖電気工業株式会社（以下、OKI）」による高度なシステム構築と、国内でいち早くMattermostのソリューション展開を手がける「株式会社ヴィセント」の専門的な技術支援のもと、外部インターネットから隔離された自社専用のプライベートネットワーク環境下でも安定して動作する「Mattermost」の導入を決定。データ主権（データの完全な自己管理）を完全に維持しながら、リアルタイムな意思決定を支える堅牢なコミュニケーション基盤を確立しました。

■ 導入の背景と課題

パブリックな外部環境に依存しない、徹底したデータガバナンスの必要性

組織の特性上、取り扱うデータには極めて高い機密性が求められます。一般的なパブリッククラウドサービスでは、データが外部サーバーを経由・蓄積されるリスクがあり、同組織の厳格なセキュリティポリシーを満たすことが困難でした。

自社専用のクローズド環境下での動作保証

外部ネットワークとの通信を制限した「専用のプライベートネットワーク（オンプレミス）環境」において、遅延なくリアルタイムに連携できる、信頼性の高いシステムを構築する必要がありました。

不測の事態における迅速な意思決定体制の確立

24時間365日の安定稼働が求められる業務プロセスにおいて、突変的な事案が発生した際にも、関係者間で即座に安全な情報共有と指示出しが行える、強固な連絡ラインが求められていました。

■ 「Mattermost」選定と協業パートナー採用の理由

完全なプライベート環境への展開力（オンプレミス対応）

オープンソースをベースとし、自社（自組織）が管理するインフラ内部に閉じた形でシステムを完全構築できるため、外部へのデータ漏洩リスクを根本から排除できる点が決定打となりました。

OKIの高度なインテグレーション力とヴィセントの専門技術の融合

ミッションクリティカルな社会インフラシステムの構築に定評のあるOKIがプロジェクト全体の統括と強固なインフラ設計を担い、Mattermostの導入・カスタマイズにおいて高い技術力と豊富なノウハウを持つヴィセントが技術検証と環境最適化をサポート。この強力な布陣により、最高水準のセキュリティ要件をクリアできる見通しが立ちました。

エンタープライズ水準の管理・監査機能

データの一元管理はもちろん、万全な監査ログ機能やアクセス制御など、業界最高峰のコンプライアンス要件をクリアできる堅牢な仕様を備えていることが高く評価されました。

■ 導入の効果と今後の展望

導入後、インターネットから隔離されたセキュアなネットワーク環境内において、機密情報を一切外に出すことのない迅速な意思決定と情報共有が実現しました。現場と管理部門の連携スピードは劇的に向上し、有事の際にも揺るがない強固な業務継続（BCP）体制が整備されています。

今後は、同環境内の他の業務システム等とMattermostをセキュアにAPI連携させることなども検討の視野にいれ、さらなる業務自動化と運用管理の高度化を進めていく方針です。

■ 構築パートナーからのコメント

沖電気工業株式会社（OKI）

「本プロジェクトにおいて、お客様の極めて厳格なセキュリティ基準をクリアし、かつ現代的で利便性の高いコミュニケーション環境を構築できたことを大変嬉しく思います。弊社が培ってきた大規模システムインテグレーションのノウハウと、Mattermostの技術スペシャリストであるヴィセント様との強力なパートナーシップにより、堅牢性と柔軟性を兼ね備えた非常に先進的なセキュアモデルが実現いたしました。今後も高度な情報統制と生産性向上を両立するITソリューションを共に提供してまいります。」

株式会社ヴィセント

「最高水準のセキュリティを求めるお客様のプロジェクトに、Mattermostのプロフェッショナルとして携われたことを光栄に思います。OKI様が誇る強固なインフラ構築技術と、当社の培ってきたMattermostの導入・カスタマイズ知見を掛け合わせることで、ネットワーク隔離環境下での最適なパフォーマンスとデータ保護の両立を実現できました。今後もOKI様との連携を深め、よりセキュアで高度なコミュニケーション基盤の普及に貢献してまいります。」